

假名漢字

日華兩用辭典

周周  
融萍  
編譯

世界書局印行

本書係以芳賀矢一所著之新式辭典爲藍本，略加刪削，編譯而成。凡原書中之古語僻字，概不採錄。又凡和漢解義相同而爲吾人所熟知之語，例如「政府」(せいふ)、「國家」(こくか)、「官吏」(くわんり)之類，亦不採錄，以免徒佔篇幅。本書語義解釋，白話文言並用，務求確切而無遺。語數之豐富，非目今坊間所見之日華辭典所可同日而語。然本書最大之特色，尤在其具有日華兩用之便利；凡見漢字而不知其讀法，或見假名而不明其解義者，均可於本辭典中檢得之。又原書之組織，係將一切複合語——例如「ウラ・オモテ」(裏表)、「ウラ・ガキ」(裏書)、「ウラ・ゴシ」(裏漣)等是——排列於其主語——「うら」(裏)——之下，使翻檢者不待說明而能明其語源上之系統，此亦爲本書特點之一。茲就本書翻檢上必須注意之點分敘於後。

一 排列之順序

1. 主語與主語之關係，悉依五十音圖之順序。
2. 主語下之合複語與複合語之關係，亦依五十音圖之順序。
3. 撥音「ん」列於五十音之末尾。
4. 長音符號「ー」列於「ん」之次。

二 詞類及術語之略語如左

1. 詞類。

- |        |        |        |        |       |
|--------|--------|--------|--------|-------|
| (名)名詞  | (代)代名詞 | (形)形容詞 | (數)數詞  | (動)動詞 |
| (助)助數詞 | (助)助動詞 | (副)副詞  | (接)接續詞 | (助)助詞 |
| (感)感歎詞 | (分)分詞  | (貌)貌詞  | (首)首詞  | (尾)尾詞 |

2. 術語。

- |       |        |        |          |        |
|-------|--------|--------|----------|--------|
| (法)法學 | (經)經濟學 | (醫)醫學  | (生)生理學   | (建)建築學 |
| (文)文法 | (哲)哲學  | (論)論理學 | (語)語學    | (心)心理學 |
| (佛)佛教 | (理)理學  | (物)物理學 | (植)植物學   | (動)動物學 |
| (化)化學 | (數)數學  | (天)天文學 | (地)地理、地文 |        |

三 索引：

1. 假名發音索引：將主語全部及漢字音全部，依照五十音圖順序，以「表音假名遣」（現代化的標音法）排列之，同時將其「歷史假名遣」（固有的標音法）及漢字附於其下，並揭示其所在之頁數，俾在一目之下即可明瞭本書組織之大綱。

2. 漢字筆畫索引：將本書所收漢字之全部，依其筆畫之多寡，分類而排列之，於各字之下註明其音讀訓讀及難訓，並揭示其所在之頁數，使翻檢者有一舉兩知，其各種讀法之便。













猪・豕・亥 彘

いのこすち(あ)の

(こづち)牛膝 彘

いのしし

(あ)のしし(猪) 彘

いのしりぐさ(あ)

のしりぐさ

猪尻草 彘

いのち

いのる

いのゆ

いばら

いばり

いばる

いびき

いびつ

いびる

いぶかし

いぶかる

いぶす

いぶせし

いぶる

いぼ

いぼる

いぼ(いぼふ)

いま

いま(いまし)

いま(いまし)忌忌

いま(いまし)湯卷

いまし

いまし

いましむ

います

いまそ

(いまさふ)在

いまだ

いまだし

いまめかし

いまめく

いまわし

(いまはし)忌

いまわ

(いまはる)齊

いま

いみ

いみじ

いみな

いむ

いむ

いめ

いも半・諸・薯蕷

いも

いも

いもと

いも(いもふ)

いもと

いもと

いもと

汝

乃

戒

在

座

未

未

今

今

忌

齊

忌

諱

忌

齊

齊

齊

齊

齊

齊

齊

齊

齊

齊

齊

齊

齊

妹

妹

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

彘

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

入

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い</







お(を) 緒 八五  
 お(を) 麻・亭 八五  
 お(を) 尾 八五  
 お(を) 雄 牡・男 八五  
 お(を) 小 八五  
 お(を) 汚 汗 八五  
 お(を) 悪 八五  
 お(を) 鳴 八五  
 おあか 御垢 八五  
 おあし 御足 八五  
 おあん 御庵 八五  
 おい 老 八五  
 おい(をい) 八五  
 おい(おひ) 笈 二〇〇  
 おい(おひ) 負 二〇〇  
 おい(おひ) 追・逐 二〇〇  
 おい(おひ) 生 二〇二  
 おい(をひ) 甥・姪 八五  
 おいえ(おいへ) 御家 八五  
 おいしい 御家 八五  
 おいで 於 八五  
 おいで 御出 八五  
 おいで 御出 八五  
 おいで 御出 八五  
 おう(おふ) 負 一〇三

おう(おふ) 追・逐 一〇三  
 おう(おふ) 生 一〇三  
 おう(おふ) 御上様 八五  
 へさま 御上様 八五  
 おお(をふ) 終・卒・畢 八五  
 おおし(おふし) 嘔・噎 二〇三  
 おおじ(おほち) 祖父 一〇五  
 おおー(おほふ) 覆・被・蓋 掩 一〇五  
 おか(をか) 岡 八五  
 阜・丘・陵・陸 八五  
 おか(をか) 傍 八五  
 おか 大鋸 八五  
 おかい(こ) 顧み (おかひ) 顧み 八五  
 るみ 御蠶括 八五  
 おかげ 御蔭 八五  
 おかざり 御飾 八五  
 おかし 御飾 八五  
 おかし 犯 八五  
 おかし(をかし) 可笑 八五  
 おかしがる (をかしがる)

おかす 侵・犯・冒 八五  
 おかず 御敷 八五  
 おかた 御方 八五  
 おかちん 御搗飯 八五  
 おかぶ 御株 八五  
 おかま(こ) 一ほろ (おかま) 一ほろ 八五  
 おかま(こ) 一ほろ 八五  
 おかみ 御上 八五  
 おがみ(をがみ) 拜 八五  
 おがむ(をがむ) 拜 八五  
 おがめ 御龜・阿龜 八五  
 おかわ(おかは) 御願 八五  
 おかん 御願 八五  
 おき 沖 八五  
 おき 奥 八五  
 おき 煖 八五  
 おき 置 八五  
 おき(をき) 起・興 八五  
 おきて 荻 八五  
 おきな 翁 八五  
 おきな

(おきなひ) 補 八五  
 おきなう 補 八五  
 (おきなふ) 補 八五  
 おきぬう 補 八五  
 (おきぬふ) 補 八五  
 おぎのる 除 八五  
 おぎのー (おきなふ) 補 八五  
 おきまり 御極 八五  
 おきむし (をきむし) 八五  
 おきめ 御決 八五  
 おきやがり ころぼ し 起上小法師 八五  
 おきやん 御俠 八五  
 おきよ 御清 八五  
 おく 奥 八五  
 おく 起 八五  
 おく 億 八五  
 おく 臆 八五  
 おく(をく) 臆 八五  
 おくす 臆 八五  
 おくつき 墳墓 八五  
 おくて 脱稻 八五  
 おくび 衽・衽 八五  
 おくび 欠 八五

おくまる 奥 八五  
 おくらみ 衽・衽 八五  
 おくらかす 後 八五  
 おくらす 後 八五  
 おくり 送・贈 八五  
 おくりな 謔 八五  
 おくる 送・贈 八五  
 おくる 後 八五  
 おくれ 後 八五  
 おけ(をけ) 桶 八五  
 おこ 御兒 八五  
 おこ 御蠶 八五  
 おこがまし (をこがまし) 八五  
 をこし 御越 八五  
 おこし 粗糞 八五  
 おこじ(をこじ) 糞 八五  
 おこす 起・興 八五  
 おこす 九  
 おこせ(をこせ) 臘 八五  
 おごそか 殿 八五  
 おこそすきん(おこそづきん) 八五  
 おこたり 御高祖頭巾 八五  
 おこたり 怠 八五

おこたる 怠 八五  
 おこと 御事 八五  
 おこない (おこなひ) 行 八五  
 おこなう (おこなふ) 行 八五  
 おこなわる(おこなはる) 行 八五  
 おこのー (おこなふ) 行 八五  
 おこり 起 八五  
 おこり 起 八五  
 おこる 起 八五  
 おこる 御強 八五  
 おこわ(おこは) 御強 八五  
 おこー(おかう) 御聽 八五  
 おさ(をさ) 長 八五  
 おさ(をさ) 斌・癡 八五  
 おざ 御座 八五  
 おさえ(おさへ) 押・抑 八五  
 おさわさ (をささ) 八五  
 おさがり 御下 八五  
 おさき 御先 八五

おさげ	御下	おじ(おち)祖父	御洒落	おそわる	落ち	おとこ	臘尉獸
おさし	御差	おじ(おち)	御座	(おそはる) 麗	落ちいる	おつとめ	御勤
おさじ	御匙	伯父・叔父・大舅・小舅	おしゆー(をし)	おそわる	おちど(をちど)	おつむ	御頭
おさしき御座敷		おし(をし)	ふ) 教・訓	(おそはる) 教	越度	おでこ	
おさす(をさす)	建	おし(をし)	おしよく 御職	おそー(おさふ)	おちのひと	おてだま御手玉	
おさだまり御定	壺	おしえ(をし)	おしろい 白粉	おそー(おそふ)	御乳人	おてまえ(おてまへ)	御手前
おさな(をさな)	壺	おし(をし)	おす 押・推・壓	おそー(おそふ)	おちぶる 零落	おでまし御出座	
おさなし	幼 壺	おしがる	おす(をす)	おそー(おそふ)	乙	おでん 御田	
(をさなし) 幼 壺		おしがわ	おす(おつ)	おぞーん	おつ	おてんば御轉婆	
おさなびる(をさなびる)	壺	(をし)がは 韋	おせち 御節	おたい	おつ	おと	音
おさまる(をさまる)	壺	おしき(をし)	おせん 御膳	おたいこ 御太鼓	おつ	おと	弟
治・修		おしき(をし)	おそ 類	御多賀杓子	おつ(をつ)	おと	乙
收・納・斂	壺	おじき(をちき)	おそ(をそ)	おたから 御寶	おつかいはれて	おと	おどおど
治・修・理・收		伯父君	おそ(をそ)	おたくら	(をつかいはれて)	おと	おとがい
納・斂・藏	壺	叔父君	おそ(をそ)	おたすね(おたづね)	おつかない	おと	(おとがひ) 頓
おさらば	壺	おじぎ 御辭儀	おそ(をそ)	おたび	おつ(をつ)	おと	おどかす 威・嚇
おさん	壺	おしすまる(おしづまる) 御靜	おそ(をそ)	おたふく 阿多	おつ(をつ)	おと	おとぎ 御伽
おし	壺	愛情・吝	おそ(をそ)	おたまじやくし	おつけはれて(をつけはれて)	おと	おどく
おし 押・推・壓	壺	おしむ(をしむ)	おそ(をそ)	おたまや御玉杓子	おつけはれて(をつけはれて)	おと	おとこ(をとこ)
おし 御師	壺	おしむらわく(をしむらわく) 借	おそ(をそ)	おたまや御玉杓子	おつけはれて(をつけはれて)	おと	おとこ(をとこ) 男
おし(をし) 鴛鴦	壺	おしめ 御襦袢	おそ(をそ)	おため 御爲	おつ(をつ)	おと	(をとこ) 男
おし(をし) 愛・惜	壺	おしやべり	おそ(をそ)	おたか 穩	おつ(をつ)	おと	とこ(らし) 男
おじ(おち)	壺	おしやらく	おそ(をそ)	おたか 穩	おつ(をつ)	おと	おどけ
			おそ(をそ)	おたか 穩	おつ(をつ)	おと	おとし



おもて	表二〇七	おもーに(おもふ)	おろ	下・降二二	おん(をん)	慍八六	おー(あう)	奧三
おもと	萬年青二〇七	に)思・意謂・	おろ(をる)	折八六	おん(をん)	怨八六	おー(あう)	悞三
おもと	御許二〇七	想・以・願・惟	おれ	已二二	おん(をん)	遠八六	おー(あう)	禿三
おもれる	阿二〇七	親	おれ(をれ)	折八六	おん(をん)	穉八六	おー(あう)	鴛三
おもむき	趨二〇七	二〇	おれい	御禮二二	おんこ	二二	おー(あう)	嚶三
おもむく	徐二〇七	老	おろ	愚二二	おんす	吝二二	おー(あう)	櫻三
おもむろ	重二〇七	凡	おろか	疎二二	おんどり	吝二二	おー(あう)	鷓三
おもらか	重二〇七	泳・游	おろかし	愚二二	おんどり(をん)	雄鳥八六	おー(あう)	鷓三
おもり	重二〇七	及	おろし	下二二	どり)	二二	おー(あう)	鷓三
おもる	重二〇七	及	おろす	下二二	おんどる	八六	おー(あう)	鷓三
おらわく	(おもはく)思二〇七	及	おろそか	疎二二	おんな(をんな)	女八六	おー(あう)	合三
おもわく	思惑二〇七	及	おろち(をろち)	巨蛇八六	おんなし	女八六	おー(あう)	會遇・逢・遭三
おもわし	思二〇七	及	およぼす	御坐二〇	(をんなし)女	八六	おー(あふ)	饗三
(おもはず)思	思二〇七	及	およる	御夜二二	おんならし(を	八六	おー(あふ)	蝨三
おもわす	思二〇七	及	およん	御夜成二二	んならし)女	八六	おー(あふ)	敢三
おもわせぶり(お	思二〇七	及	おら	己二二	おんば 御乳母	二二	おー(あふ)	嘔三
もはせぶり)	思二〇七	及	おら(をら)	我八六	おんばこ 車前	二二	おー(あう)	歐三
おもんす	思振二〇七	及	おらんだ	終・卒・畢了八六	おんぶ	頁二二	おー(あう)	殿三
おもんばかり	重二〇七	及	和蘭・阿蘭陀	御二二	おんむん 諺文	二二	おー(あう)	夙三
おもんばかる慮	重二〇七	及	織	恩二二	おん(あう)	央二二	おー(あう)	諷三
おもんみる	重二〇七	及	下	音二二	おん(あう)	快二二	おー(あう)	鵬三
おもんみるに惟	重二〇七	及	折	隱二二	おん(あう)	映二二	おー(あう)	應三
おもー(おもふ)	思二〇七	及	居	飲二二	おん(あう)	映二二	おー(あう)	鷹三
思・想・願・	思二〇七	及	織	陰二二	おん(あう)	映二二	おー(あう)	眞三
懷・惟	思二〇七	及	織	温二二	おん(あう)	映二二	おー(あう)	眞三
元	思二〇七	及	織	温二二	おん(あう)	映二二	おー(あう)	眞三
元	思二〇七	及	織	温二二	おん(あう)	映二二	おー(あう)	眞三